

令和5年度

社会福祉法人 足柄緑の会

事業報告

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～5
2	法人利用者状況等	6～12
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	13～19
4	コスモス学園中沼ジョブセンター 生産事業部	20～22
5	コスモス学園中沼ケアセンター	23～25
6	居宅介護事業所それいゆ	26～27
7	コスモス学園松田センター	28～35
8	相談支援事業所あすなる	36～37
9	コスモスホーム	38～42

1. 社会福祉法人足柄緑の会

1. 概況

(1) 新型コロナウイルスの状況

前年度より減少したものの、勤務体制に支障が生じる例も発生した。感染症対策は継続した。

(2) 行事

今年度も各種行事は事業所ごとに実施した。就労系のバス研修旅行は、公用車を使用して、会社見学、食事会を行った。生活介護のバス旅行は、公用車を使用して近場に行き、食事会を行った。利用者さんには大変好評だった。

2. 理事長の主な行動

(1) 情報交換・情報発信

- ① 総合施設長・総務部長、生産事業部長と毎週1回2時間程度のミーティングを行っている。行動予定、懸案事項の確認、その他情報交換は、意思統一が図れ有効に機能している。
- ② 毎月1日発信の理事長通信は、令和6年3月で40回となった。ビジネス講座を取り入れるようにしている。
- ③ 令和3年8月に、理事長、総合施設長、総務部長、コスモス学園中沼ジョブセンター（以下、「中沼ジョブセンター」という）所長・生産事業部長の5名で、「生産事業部将来検討会」を立ち上げ、今後のプラスチック生産事業の在り方を検討した。
途中から、「中沼ジョブセンター将来検討会」とし内容を広げ、プラスチック生産事業を含めた中沼ジョブセンター全体の在り方と、その将来に向けた方向性を議論している。次年度も継続する。
- ④ 昨年10月、職員5名と面談した。これで、管理職から一般職まで主な面談が終了した。次年度以降も計画し、職員の声を積極的に吸収し、法人の運営に生かしたい。
- ⑤ 理事会で審議の後、「法人の将来について」の意見交換を行う時間を設けた。テーマを、一回目「後継者問題」、二回目三回目を「財政について」として議論し、理事・監事の意見を汲み取っている。次年度も新たなテーマで継続する。

(2) 中・長期対策

① 設備の老朽化対策

コスモス学園松田センター（以下、「松田センター」という）外壁塗装4,323千円、車両入替2,985千円 計7,308千円

照明器具LED化で中沼ジョブセンター2,765千円、コスモス学園中沼ケアセンター（以下、「中沼ケアセンター」という）1,500千円

その他備品等を合わせ、総額12,305千円の老朽化対策を講じ、自己資金で対応した。次年度も、同様の対応予定である。

② 不稼働資産対応

特に進展は無かった。

③ 後継者問題

常に、法人全体の大きなリスクとして意識をもって行動した。地元企業に対し、人材の紹介を依頼した。職員教育を初めとし、新規・中途採用、正職員への登用等、すべてを関連した問題として捉えている。

3. 法人の運営方針

(1) サービスの質の向上

① 就労移行支援・就労継続支援B型

ア 受注・就職状況

- ・受注・工賃とも、中沼ジョブセンターは増加したが、松田センターは減少した。
- ・中沼ジョブセンター就労移行支援から1名、同じく就労継続支援B型から1名就職した。さらに2名が就職に向けた準備をしている。

イ プラスチック成形

- ・昨年倒産したZ社の処理は終了した。後継のM社は、前年比200%の売上を達成し、順調に推移している。
- ・昨年6月、成形機を7台から6台へ1台減とした。効率化努力により、特に生産に支障なく対応できている。

② 生活介護

利用者の意思決定に基づいた支援に努めた。セラピー犬とストレッチ研修、地域ボランティアとの交流を再開した。

③ 共同生活援助（グループホーム）

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に取り組んだ。地域の防災訓練、清掃活動に参加した。

④ 居宅介護（ヘルパー）

従来どおり、感染症対策を十分取りながら継続的に実施した。

⑤ 相談支援

一部対面による相談支援を再開した。

(2) 職員の教育・育成

① 資格取得について

2名が、実務者研修を経て介護福祉士の資格を取得した。

② 採用活動

従来どおり、学校訪問、事業所説明会、インターンシップ等をきめ細かく実施した。

求人広告媒体による公募を積極的に行った。

③ 後継者の育成

研修の受講や、日々のOJT等により、次の管理者を育成する取組をしてきた。今後も継続する。

④ 職員のメンタルヘルス

メンタル不調の職員はいなかった。

今後とも、定期的なメンタルヘルスチェックを行い、早めの気づき、早めの対応につなげる。

何より、風通しの良い職場環境を維持することが一番必要なことである。

(3) 法人の社会的責任の遂行

① 中沼ジョブセンターは昨年に引き続き、2月14日(水)に山北町川村小学校でロケットの組み立て・打ち上げ教室を実施した。利用者さん5名も参加し、地域貢献を果たした。

② 3月25日(月)に南足柄市と、「カーボンニュートラル・パートナーシップ協定」を締結した。温室効果ガス削減に向け、当法人として、できることを考え実行し、社会的責任を果たしていきたい。

(4) 地域における公益的な取組

災害対応訓練(中沼3回、松田3回実施)、権利擁護支援(KWネット)、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業に参加し、行政や他の福祉施設、医療機関等との連携、協働を図った。

(5) 法令順守

① 幹部職員との定例ミーティングにより情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理を行い、働き方改革に対応した。

② 役員の勉強会は、理事会の時間内で、自立支援給付費の仕組みについて勉強した。

(6) 財務安定化

① 老朽化対策については、この先10年を一つの目途とし、実施時期、金額、調達方法を洗い出し共有した。

② 中沼ジョブセンターの照明器具LED化について、省エネお助け隊の診断受診、情報提供により、神奈川県省エネ補助金630千円を受給した。

③ 南足柄市より、新たに、行動障害者支援事業補助金3,114千円を受給した。同じく、重度重複障害者個別支援事業補助金について、従来3名だったのが6名となり、3,027千円受給した。

④ 最低賃金の大幅上昇、更に、公共料金、食材、保険、修繕工事代等値上げの中、法人全体で、経費の削減や、計画の見直しに努めた。その結果、当期活動増減差額は、前年度より増加し黒字を確保できた。

4. 評議員会・理事会実施報告

(1) 評議員会

定時評議員会 令和5年6月28日(水)

第1号議案 令和4年度計算書類等の承認の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 監事選任の件

令和5年度第2回評議員会 令和5年12月29日(金)

第1号議案 土地購入の件

(2) 理事会

令和5年度第1回理事会 令和5年5月30日(火)

第1号議案 令和4年度事業報告の承認の件

第2号議案 令和4年度計算書類等の承認の件

第3号議案 定時評議員会の招集の件

第4号議案 理事選任候補者の推薦の提案の件

第5号議案 監事選任候補者の推薦の提案の件

第6号議案 福祉車両の無償譲受の件

令和5年度第2回理事会 令和5年6月29日(木)

第1号議案 理事長の選定の件

令和5年度第3回理事会 令和5年7月25日(火)

第1号議案 評議員選任・解任委員の変更の件

第2号議案 第三者委員の変更の件

令和5年度第4回理事会 令和5年9月22日(金)

第1号議案 コスモス学園松田センターの車両買替の件

第2号議案 日中一時支援事業運営規程の変更の件

第3号議案 令和5年度資金運用計画の変更の件

令和5年度第5回理事会 令和5年11月22日(水)

第1号議案 給与規程およびキャリアパスの変更の件

第2号議案 無期転換職員就業規則の変更の件

第3号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件

第4号議案 人事考課規程の変更の件

第5号議案 土地購入の件

第6号議案 令和5年度第2回評議員会の招集の件

令和5年度第6回理事会 令和6年1月30日（火）

第1号議案 令和5年度第1次補正予算承認の件

第2号議案 生活介護事業所の運営規程の変更の件

第3号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター就労移行支援の廃止の件

第4号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター就労継続支援B型の運営規程
の変更の件

第5号議案 役員等賠償責任保険契約の件

令和5年度第7回理事会 令和6年3月21日（木）

第1号議案 令和6年度事業計画承認の件

第2号議案 令和6年度予算承認の件

第3号議案 令和6年度資金運用計画承認の件

第4号議案 コスモス学園中沼ケアセンターの外壁改修工事の件

第5号議案 給与規程の変更の件

第6号議案 無期転換職員就業規則の変更の件

第7号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件

第8号議案 慶弔見舞金規程の変更の件

第9号議案 定款変更の件

2. 令和5年度法人利用者状況等

(1) 事業所別利用者数

令和6年3月31日時点

事業所	障害支援区分	南足柄市			小田原市			秦野市			山北町			開成町			大井町			松田町			箱根町			横須賀市			平塚市			中井町			湯河原町			計						
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計							
中沼J.C就労移行	2			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	3			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1							
	4			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	区分なし	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1							
	計	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2					
中沼J.C就労継続	2	1	2	3	1		1			0			0			0			0	1	1			0			0			0			0	3	2	5								
	3	3	1	4	4		4	2	1	3	1	1	1			0			0			0			0			0			1	1	1	1	11	3	14							
	4	4	5	9	2	1	3	1	1	2			0	1	1				0			0			0	1	1			0			0	8	8	16								
	5	1	1	2	1	1	2			0			0			0			0			0			0		1	1			0			0	2	3	5							
	6		1	1			0			0			0			0			0			0			0		0			0			0	0	1	1								
	区分なし	10		10	3	1	4			0			0	1	1				0	1	1			0			0			0			0	15	1	16								
計	19	10	29	11	3	14	3	2	5	1	0	1	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	39	18	57					
中沼J.C日中一時	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	2	1		1	2	1	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0	3	1	4							
	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	4			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	計	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4			
中沼C.C	3	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1							
	4	1	2	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	2	3							
	5	3	2	5	2		2	1	1	1			0			0			0			0			0			0			0			0	6	2	8							
	6	4	5	9	2	8	10			0	1	1	2			0			0			0			0			0			0			0	7	14	21							
	計	9	9	18	4	8	12	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	18	33		
松田C就労継続	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	2			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	3			0	2		2	3		3			0			0	3	2	5			0			0			0			0			0	8	2	10							
	4			0			3	3	3	3			0	1	1	2	1		1	1	1			0			0			0			0	5	5	10								
	5			0	2		2			0			0			0			0			0			0			0			0			0	2	0	2							
	区分なし			0			0	2		2			0	2		2	1		1	1		1			0			0			0			0	6	0	6							
計	0	0	0	4	3	7	8	0	8	0	0	0	3	1	4	5	2	7	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	7	28		
松田C日中一時	2			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1							
	3			0			0			0			0			0	1	1		0			0			0			0			0			0	1	0	1						
	4			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	5			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
松田C生活介護	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	4			0	1	1	2	1		1			0	1	1	1	1		0			0			0			0			0			0	3	2	5							
	5	1		1	2		2	1		1			0			0	1	1	2		2			0			0			0			0	7	0	7								
	6	1	1	2	2	2	4	1	1	2	2		2	1		1			0		1	1			0			0			0			0	7	5	12							
	計	2	1	3	5	3	8	3	1	4	2	0	2	1	1	2	2	0	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	7	24
コスモスホーム	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0							
	2	1		1	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	2	0	2							
	3	2		2	1		1	1		1			0			0	2	1	3			0			0			0			0			0	1	1		0	5	3	8			
	4	1	1	2			0			0			0	1	1		0			0			0			0			0			0			0	1	3	4						
	5	3	3	6			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0	4	3	7							
	6	1	2	3			2	2	1		1	1		1	1		1			0			0			0			0			0			0	4	4	8						
	計	8	6	14	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	1	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	13	29
合計	40	26	66	30	20	50	17	4	21	5	1	6	7	3	10	10	3	13	5	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	64	179

※R4年度合計 34 26 60 30 20 50 17 4 21 5 1 6 8 3 11 11 4 15 4 2 6 1 0 1 0 2 2 0 1 1 0 2 2 1 0 1 111 65 176

(2) 利用者年齢構成状況

令和6年3月31日時点

年齢	18~19歳	20~24歳	25~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	合計	平均年齢
就中沼J 就労移行C	男		2							2	23.9
	女										
	計		2							2	23.9
就中沼J 就労継続C	男	2	3	10	6	10	5	1		37	36.3
	女		2	5	6	2	3	1		19	37.8
	計	2	5	15	12	12	8	2		56	37.1
日中沼J 日中一時C	男				2			1		3	45.3
	女					1				1	42.0
	計				2	1		1		4	43.7
中沼C C	男		2		6	6	1			15	38.0
	女			3	9	3	2		1	18	39.5
	計		2	3	15	9	3		1	33	38.8
就松田C 就労継続C	男		1	5	8	5	1	1		21	35.8
	女				2	3	1		1	7	45.9
	計		1	5	10	8	2	1	1	28	40.9
日中一時 C	男			1			1			2	38.0
	女										
	計			1			1			2	38.0
生活介護 松田C	男	1	1	8	6		1			17	29.9
	女		1	3	3					7	29.6
	計	1	2	11	9		1			24	29.8
										全平均	36.0
										男性平均	35.3
										女性平均	39.0

年齢	18~19歳	20~24歳	25~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	合計	平均年齢
ホーム C	男			1	6	4	2	2	1	16	44.0
	女			2	5	2	3		1	13	41.9
	計			3	11	6	5	2	2	29	43.0

(3) 医療状況

内科検診

実施日	中沼J C	中沼CC	松田C	合計
5/15	47	29		76
7/26			46	46
10/19	44	28		72
1/31			42	42
計	91	57	88	236

利用者健康診断(JA)

実施日	中沼J C	中沼CC	松田C	合計
3/11	49	32		81
3/14			49	49
計	49	32	49	130

歯科検診

実施日	中沼J C	中沼CC	松田C	合計
7/6			43	43
2/19	45	28		73
計	45	28	43	116

インフルエンザ予防接種(任意)

実施日	中沼J C	中沼CC	松田C	合計
11/13	44	29		73
11/22			40	40
計	44	29	40	113

(4) コスモス会(自治会)活動状況

項目	実施	場所
自治会役員定例会議	11回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
全 体 会	12回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
献 立 会 議	4回/年	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 食 堂 松 田 セ ン タ ー 食 堂
行事準備(買出し等)	中 止	
学 園 行 事 担 当	中 止	

(5) 行事实施状況

実施日	行 事 名	場 所
7/8	納 涼 大 会	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
9/15	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
10/7	コスモスホーム利用者バーベキュー食事会	コ ス モ ス ホ ー ム
10/14	コ ス モ ス 学 園 祭	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
12/9	コスモスホーム利用者忘年会	コ ス モ ス ホ ー ム
12/15	ク リ ス マ ス 会	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 2 階
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
2/16	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟

(6) ボランティア状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中沼JC				8			12						20
中沼CC													
松田C				1	1	1	1	2	1		1	2	10
コスモスホーム													
イベント													
合計人数				9	1	1	13	2	1		1	2	30

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加人数
9/5	南足柄市防災訓練 中沼自主防災組織防災訓練	コスモスホーム	5
9/23	総合防災訓練	コスモスホーム	14
10/24	避難訓練 (地震+火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	73
10/23	避難訓練 (地震+火災想定)	松田センター	43
1/25	避難訓練 (地震+火災想定)	松田センター	44
3/13	避難訓練 (火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	70
3/16	避難訓練 (地震想定)	コスモスホーム	13
3/25	避難訓練 (地震+火災想定)	松田センター	41
3/29	消火訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	30
		合計	333

(8) 研修・実習等受入状況

実施日	研修・実習名	人数
6/29～30	小田原支援学校3年生(校外)実習(松田センター)	1
8/7～23	鎌倉女子短期大学保育実習(松田センター)	2
8/14～18	介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
8/28～9/1	教職員現場実習(中沼ジョブセンター)	1
10/16～27	小田原支援学校2年生実習(中沼ケアセンター)	1
11/8	秦野支援学校2年生、1日体験実習(松田センター)	1
12/11～13	就労継続支援B型体験実習(中沼ジョブセンター)	1
1/17～19	小田原支援学校3年生(校外)実習(松田センター)	1
1/18	小田原支援学校2年生実習(中沼ケアセンター)	1
2/5～16	小田原支援学校2年生体験実習(中沼ジョブセンター)	1
3/12～15	足柄高校進路体験実習(中沼ジョブセンター)	1
	合計	12

(9) 令和5年度職員配置状況

	総合施設長	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		14				8			24
中沼 CC		兼務		1		19							20
それいゆ		兼務			1			6					7
松田C	1	兼務		1		21					6		29
あすなろ		兼務					1						1
コスモスホーム		兼務		1		4			18		1		24
総務部			1									3	4
合計	1	0	2	4	1	58	1	6	18	8	7	3	109

令和4年度職員配置状況 <比較資料>

	総合施設長	所長	部長	サービス管理責任者	サービス提供責任者	支援員	相談支援専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		13				8			23
中沼 CC		兼務		1		18					1		20
それいゆ		兼務			1			9					10
松田C	1	兼務		1		20					7		29
あすなろ		兼務						1					1
コスモスホーム		兼務		1		5			21		1		28
総務部			1									3	4
合計	1	0	2	4	1	56	0	10	21	8	9	3	115

(10) 令和5年度採用・退職状況

事業所	採用	退職
中沼 JC (生産事業部)	1	1
中沼 CC	5	3
松田C	2	2
コスモスホーム	1	1
あすなろ		
それいゆ		
総務部		
合計	9	7

令和4年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採用	退職
中沼 JC (生産事業部)		
中沼 CC	1	1
松田C	3	3
コスモスホーム	2	2
あすなろ		
それいゆ		
総務部		
合計	7	6

(11) 令和5年度 職員研修出席状況

日時	外部研修	人数
6/13	WEBセミナー:障害基礎年金学習会「教えて!障害基礎年金」	1名
6/27	摂食・嚥下の基本と食事支援について	1名
7/26	技能体得講座「アサーションについて」	1名
7/27	WEBセミナー:新任職員人権研修 ①あおぞらプランⅢについて ②虐待防止・権利擁護について	2名
7/28	WEBセミナー:苦情解決研修会 基礎編「苦情解決のしくみを理解する」	1名
8/3	神奈川県総会・研修会「神奈川の福祉を語る」	2名
8/3、4	WEBセミナー:強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	1名
8/7~21	WEBセミナー:全国知的障害関係施設長等会議	1名
8/22、29	障害福祉グループホームの生活を考える研修会 22日:ZOOM 29日:会場参加	1名
8/24	神奈川県サービス管理責任者更新研修	1名
8/29	WEBセミナー:メンタルヘルスリスクへの対応とリスク管理	1名
9/22	WEBセミナー:支援現場で役立つ、アンガーマネジメントの基礎と実践	1名
8/21、10/31	WEBセミナー:「障がい者就労支援力」について考える ①支援員の基礎知識	2名
9/5	「障がい者就労支援力」について考える ②支援力up 企業支援	1名
9/11	WEBセミナー:精神療法的ケース理解と支援の方法 ~支持的であるということ~	1名
10/11	神奈川県指定障害福祉サービス事業者等に対する指導講習会	2名
10/17	神奈川県意思決定支援ガイドライン研修	1名
10/18	WEBセミナー:いまどきのハラスメント対策 ~社会福祉法人におけるハラスメントへの具体的実務~	1名
11/7~9	R5年度 リスクマネジャー養成研修	1名
11/13	関東社会就労センター協議会研究大会2023inしずおか シン・福祉~どうするSELP~	1名
11/14	リハビリテーション研修「知的障がいのある方への生活支援」	1名
12/4	WEBセミナー:R5年度第3回精神科領域支援セミナー「精神科薬物療法の実際」	1名
R6.1/18、19	WEBセミナー:強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	1名
1/22~配信	全国知的障害福祉関係職員研究大会 山梨	1名
1/30	R5年度 神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修	1名
2/14~28配信	WEBセミナー:全国生産活動・就労支援部会職員研修会 就労系障害福祉サービスの「支援の質」とは	1名
2/19	WEBセミナー:神奈川県オンブズマンネットワーク交流研修会	1名
2/21、22	R5年度 全国社会就労センター長研修会「就労系の未来を問う」	1名
2/29	WEBセミナー:第38回神奈川県障害福祉職員実践報告会 支援スタッフ部会	1名
3/13	R5年度都道府県経営協セミナー(後期)	1名
	法人研修	
R5.6/9	・丁寧な支援を心がける	28名
R6. 2/23	・午前 ①危険予知訓練(KYT)について ②小さな出来事から虐待防止を考える ・午後 意思決定支援など 講師:ほうあんふじみのさと所長 上田理氏	73名

3. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労移行支援

2. 利用者在籍状況 定員6名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	46
女													0
計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	46
退所												2	2
入所													0

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和4年度 67.4% 1,063名

(2) 令和5年度 57.4% 902名

4月以降、就労移行利用の希望者はなく利用率も10%低下した。3月に1名の就職と、1名が就労移行支援サービス期間終了に伴い退所し、就労継続支援B型に入所している。

4. 就労活動

(1) ビジネスマナー

就労経験のないメンバーとなり、座学にて以下の内容に取り組んだ。

- ① 就労に必要な力をつけるため イ、呼ばれたら返事をする。ロ、一生懸命行う。ハ、人に迷惑をかけない。ニ、自分のことは自分で行う。

4つの項目を日々目標に掲げて取り組んでいる。

- ② 挨拶、返事、身だしなみ、生活リズム、服薬管理、公共交通機関の利用法、携帯電話の使用マナー等重要性を伝えている。

- ③ 日中活動での作業を通じて、ビジネスマナーで学んだことを繰り返し実践した。

(2) 実習支援

- ① 令和5年10月にA社にて職場体験実習支援を行った。

- ② 令和6年1月にB社の求人に応募し、1/17~18(1次)、2/14~20(2次)で雇用前実習を行った。

(3) 施設外就労

施設外就労先は前年度から引き続き、りんどう会館清掃、C社、D社、E社、F社の施設外就労に参加した。

- ① りんどう会館清掃を共同受注にて請負い毎週3回（月・水・金）実施した。
- ② C社の構内除草作業（窓拭き、ゴミ拾い含む）を請負い、毎週2回（火・木）実施した。大企業の中で作業を行うことで緊張感もあり、身だしなみや言葉づかいなどマナーの向上にもつながった。
- ③ D社のクロネコメールBOX作業を受注し、松田センターと共同で毎日8名～9名が参加した。6月に受注がなくなってしまい、7月～9月まで取引を中止していたが、10月より日数は減るものの再開した。企業で求められる厳しさを肌で感じ、言葉づかいや相手への思いやり、納期に間に合わせなければいけない責任感を養うことができた。
- ④ E社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）に参加し、庭の整備や外周周りの清掃を行った。毎月8回（月、金）（※1月～3月は除く）実施した。
- ⑤ F社に2名の利用者が交替で出勤（9：00～16：00）し、プラスチック成形工場内でのトレイ剥がし作業を行った。※令和5年5月終了

（4）求職活動支援

- ① ハローワーク松田と連携し、松田町ハローワークチャレンジ雇用に応募したが不採用だった。
- ② ハローワーク松田と定期的な情報交換を行い求人情報の収集に努めた。
- ③ 就労支援事業所チーム連絡会に年4回参加した。
- ④ 求職登録者が自分でハローワークにて求人検索ができるよう支援した。
- ⑤ 就労支援センターぽけっとと連携し就労支援を行った。

（5）フォローアップ支援

6名の職場支援を行っている。対人トラブルや環境になじめず2名が離職となっている。3名が事業所支援および本人支援にて就労継続につながった。3月入社
の1名は定着支援を行った。

5. 就労移行実績

令和5年度就職者数1名 G社：化粧品製造ライン業務

Sさん男性（20歳）ハローワーク小田原より求人の紹介をいただき、2回の雇用前実習を行い採用につながっている。

6. 就労移行支援事業廃止

昨今の利用率の低下、新規利用希望者の減少に伴い、就労移行支援事業は令和6年3月31日をもって廃止とする。なお、令和5年度に就労移行支援を利用されていた利用者4名のサービス期間終了日は、1名が2月29日、3名が3月31日となっていた。3名はコスモス学園中沼ジョブセンター就労継続支援B型事業所と契約した。1名は3月12日よりG社に就職した。

コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 34 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	35	35	36	36	36	36	36	36	36	36	37	38	433
女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
計	53	53	54	54	54	54	54	54	54	54	55	56	649
退所													
入所	2		1								1	1	5

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和4年度	施設内利用率	95.8%	8,576名
	施設外利用率	17.7%	1,583名
	合計利用率	113.5%	10,159名
(2) 令和5年度	施設内利用率	110.4%	9,838名
	施設外利用率	17.4%	1,558名
	合計利用率	127.8%	11,396名

4月当初新利用者2名が加わり、年度途中で3名が入所されたため利用率が上がった。
施設外就労利用者が1,500名を超えていることから事業所内利用率は125%を上回ることはなかった。

4. 工賃実績

月	上半期							下半期							年間合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計		
延べ利用者実績	924	999	923	1,008	978	924	5,756	989	931	979	897	914	930	5,640	11,396人	
工賃支払総額	835,050	870,360	809,520	874,070	850,960	795,870	5,035,830	834,620	791,000	817,100	788,570	839,700	771,070	4,842,060	9,877,890円	
稼働日数	21	23	22	23	23	22	134	23	21	22	20	21	21	128	262日	
平均工賃	時間額	226	218	219	217	218	215	219	211	212	209	220	230	207	215	217円
(円)	月額	18,978	20,038	19,295	19,944	20,012	18,949	19,536	19,410	17,842	18,362	17,582	19,293	17,411	18,317	18,926円

令和5年度平均工賃月額 18,926円 (前年度 17,556円)

昨年より取引を始めた、H社の作業、I社より受注しているアマゾン作業も順調に売上を伸ばした。また、共同受注窓口より定期的な受注依頼もあり売上増につながった。令和6年2月よりF社より「プラウトハンドル検査」を受注し、月額300,000円の売上が見込まれる。

報酬改定に伴い、平均工賃の計算方法が変更されたこともあり、利用者平均工賃は前年度比107.8%（月額1,370円）向上した。

5. 日中活動

(1) 奉仕活動

赤い羽根共同募金の街頭募金に参加した。（小田原百貨店南足柄店にて）

(2) 廃品回収

- ① 段ボール、古新聞の回収を行い、毎週火曜日に松田センターに届けた。
- ② 各家庭から持ち寄ったアルミ缶は随時、中沼ケアセンターに届けた。

(3) 健康管理

身体機能の低下が著しい利用者が増え、日々のバイタルチェックは必須の状態となっている。また、食事形態の変更を余儀なくされる利用者も目立ってきている。

- ① てんかん発作を記録し、通院時の情報提供を行った。
- ② 個々の利用者健康診断結果をもとに、血圧、体重、サチュレーションの測定を導入した。
- ③ 朝の作業開始前にはラジオ体操を作業室ごとに実施し健康の維持に努めた。
- ④ 新型コロナウイルス感染予防として、出入口でのアルコール消毒、バイタルチェック、密を避けるための時間差対応などに取り組んだ。

(4) フリープログラム

昼休みはカラオケ、カードゲーム（トランプ、UNO）をグループで楽しめていた。

(5) 地域交流

- ① 納涼大会、学園祭にて近隣自治会や福祉会よりボランティアの受け入れを再開し利用者との地域交流ができた。
- ② 令和6年2月に、山北町立川村小学校6年生を対象に、第3回モデルロケット教室を開催した。
- ③ 南足柄市郵便局員が、作業ボランティアとして利用者と一緒に作業を行った。

6. 就労活動

(1) プラスチック製品の検査・計量・箱詰め・伝票作成・束ね

令和5年度はJ社の納品準備が利用者作業に定着することができた。工場での補助作業員として1名の利用者が携われるようになった。

(2) 清掃活動

清掃作業を得意とする利用者を5名増やすことができた。清掃メンバーが増えたことで、これまでの利用者への負担も軽減でき、工賃向上にもつながった。トイレ清掃技術の向上により、学園トイレの清潔保持につながっている。

(3) 受注作業

全ての利用者が何らかの作業に携われるよう、幅広い作業種を用意した。新規受注では、F社のプラウトハンドル検査が新たに加わり売上増につながった。

① H社

定期的な安定発注をいただき利用者の工賃向上につながった。

② F社

プラウトハンドル検査の受注が開始となる。月200,000本の受注を受け、月300,000円の売上が見込まれる。

③ 神奈川県共同受注窓口

神奈川県共同受注窓口より、研磨、シール貼り等の軽作業など定期的な発注をいただき工賃向上につながった。

(4) 施設外就労

施設外就労先は、りんどう会館清掃、C社、D社、E社の4社を請け負った。参加利用者23名、延べ1,559人が参加し、工賃向上につながった。

① りんどう会館清掃を月・水・金の週3回行った。

② C社の構内除草作業（窓拭き、ゴミ拾い含む）を請負い、週に2回（火・木）取り組んでいる。大企業の中で作業を行うことで緊張感もあり、身だしなみへの意識や言葉づかい、挨拶など就労マナーの向上にもつながった。

③ D社の作業に松田センターと共同で毎日8名～9名が参加した。今年度、売上の柱であったクロネコメールボックス作業が6月で生産中止となり、施設外就労の継続が危ぶまれたが、9月よりコンビニのスピードくじ景品作業で持ち直した。企業で求められる厳しさを肌で感じ、言葉づかいや相手への思いやり、納期に間に合わせなければいけない責任感を養うことができた。

④ E社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）を週2回（月・金）取り組んだ（1月～3月を除く）。

(5) 就労支援

L社開成店

Kさん女性（21歳） ハローワーク小田原からの紹介で雇用前実習に取り組んだ。期間：令和5年5月22日～5月26日（5日間） 結果：採用

7. 余暇活動（共通）

(1) 納涼大会

事業所ごとでの開催となった。コンパクトではあるが、利用者のニーズに応えることができた行事となった。

(2) 学園祭

今年度も法人全体での開催は難しく事業所ごとの開催となったが、ボランティアの受け入れを再開し、地域交流につながった。

(3) バス研修旅行

C 社富士工場の見学では最新の物流システムと障害者雇用の現状について学んだ。御殿場市の時之栖にてランチバイキングを楽しんだ。

8. 職員研修（共通）

(1) 近隣法人の施設見学を行った。歴史、入所施設での支援、グループホームでの支援を知ることができた。

(2) 非常勤職員1名が神奈川県社会福祉協議会主催の新人職員研修に参加した。

(3) 関東セルフセンター主催の研修大会に参加した。

(4) 全国セルフセンター主催のセンター長研修大会に参加した。

(5) 法人内研修

① 6月に「丁寧な支援を心がける」をテーマに全職員対象に研修を行った。正職員対象にメンタルヘルス研修を行った。

② 2月にKYT（危険予知トレーニング）研修および人権研修を行った。

9. 事業所運営（共通）

(1) 障害特性、人権擁護、虐待防止等の研修を職員会議を通じて行った。

(2) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(3) 火災・地震を想定した避難訓練を実施した。

10. 地域活動（公益活動、共通）

開催	行事名	場所
5月	みんなのつどい（中止）	小田原アリーナ
7月	納涼大会	中沼ジョブセンター
10月	学園祭	中沼ジョブセンター
12月	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ

11. 支援他

(1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。

(2) 中沼ジョブセンター会議を毎月1回開催した。

(3) 工賃会議を8月、2月に実施した。

(4) 利用者健診

- 健康診断を年1回実施した。
- 内科健診を年2回実施した。
- 歯科検診を年1回実施した。
- インフルエンザ予防接種を実施した。
- 新型コロナワクチン接種を実施した。

4. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 生産事業部 就労支援事業

2. 目標達成の手段・具体的方策

資料1 生産事業部売上の推移と年度別トピックス

資料2 生産事業部主要取引先別売上推移

(1) 前年度比 105%以上の売上目標に対し、114%の売上であった。

【令和5年度総括】

令和4年度に倒産したZ社より受注していた、いすゞ自動車向け製品を元請けのM社から直接受注したことにより、同社からの受注が大幅に増加した。さらに同社より複数の新規受注が得られたことも売上の増加に貢献した。

また、J社向け製品（J社協力会会員のN社向含む）の受注も順調に増加した。受注の増加へは、令和4年度に更新した自動取出機を活用し対応した。

① 既存顧客からの受注製品増加

ア J社

産業用電池向け製品で複数の新規受注があり売上の増加に貢献した。

イ O社

7月に長年継続受注していたセキュリティー製品の受注が大幅に減少したことが原因で下期の受注額は低調であった。

ウ P社

年間を通して複数の新規案件があったが、年度内の新規受注は実現しなかった。

エ M社

新型トラック向けの受注もあり売上は大幅に増加した。

オ Q社

モデルロケットの打ち上げが全国に展開されたことにより受注は増加した。

② 営業力の強化・新規顧客の開拓

ア 既存顧客から通年コンスタントに新規案件があった。令和6年度受注実現を目指し引き続き営業活動を続けている。

イ 特殊なプラスチック原料を使用した成形(量産化)が顧客から評価され、複数の新規受注・既存受注品の増産があった。

③ 成形機稼働の効率化による生産能力向上

ア 6月より、成形機の稼働(油圧機1台)の稼働を停止し、成形機6台体制で生産をしている。夜間無人稼働により受注に対応した。

イ M社より受注した製品の2次加工(成形品へのシール貼り作業)を利用者作業と

して移管した。

- ④ F社より、同社で成形した成形品の検査作業を中沼ジョブセンターの作業として受注した。
- ⑤ 品質マネジメントシステム(ISO9001)、環境マネジメントシステム(KES ステップ1)の外部機関による定期審査は、改善が必要な指摘はなく効果的な運用が認められた。この結果は顧客からの要求に応じ開示している。

J社による「サプライヤー期待値のフィードバック」(品質・納期順守・コスト・安全で評価)では、対象取引先の評価平均を上まわることができた。

(2) 組織体制の強化を図る

- ① 人材の雇用・育成は、受注品目増加への対応を優先させるため、年度内に成形技術者の求人は行わなかった。

受注・出荷担当(1名)製品検査担当(1名)が高齢を理由に9月末での退職希望があり、9月初旬に2名を新たに採用している。約1ヶ月の引継ぎ期間を設けられたことにより、生産体制や対顧客への問題は発生しなかった。

- ② プラスチック分科会、中沼ジョブセンター将来検討会議において今後の長期事業計画について定期的に検討した。

さがみ信用金庫との打ち合わせは本年度も継続して実施した。

- ③ プラスチック成形付帯作業の効率化は、成形機の操作が必要な作業等で利用者に移管することができた。
- ④ 生産活動のデータ管理(稼働率・良品率等)を行った。
- ⑤ 職員教育は、新規受注品を対象に適時品質教育を実施した。

(3) 適切な設備投資、修繕を行う

- ① 設備投資計画は、主にプラスチック分科会、中沼ジョブセンター将来検討会を通じて課題の解決・設備の導入(計画も含む)検討を行った。
- ② 定期点検、メンテナンスを実施した結果、生産に影響をおよぼす故障はなかった。
- ③ 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の推進は、不稼働金型の返却、治具置場の見直し、定期清掃を実施した。

(4) 品質管理体制の強化

- ① ISO9001の効果的な運用に関しては、1月30日(月)に外部機関による定期審査を受けている。品質管理が効果的に運用されていることが認められた。

(5) 環境改善活動

KESステップ1規格は、3月にヨコハマみらい環境協議会によって確認審査を受け

ている。規格に準じた環境改善活動を実施していることが認められた。

(6) 資格・免許の取得は、該当者がいなかったため実施せず。

(7) 令和5年度重点取組事項

- ① 令和4年度新規受注製品の生産体制の確立は、年間を通じて取り組みを続けた結果、受注から製造・品質管理・出荷までの工程を利用者の作業参加も含めて確立することができた。
- ② 利益率の向上は、令和4年度新規受注製品を中心に、成形品の2次加工を自動化させた。これにより品質の安定と作業員の負担軽減に効果があり、受注の増加に対し過度な負担は生じなかった。また、生産が困難な材料での生産や高い品質要求等、顧客の要求に応えられたことにより付加価値を盛り込んだ価格での受注が年間を通じて得られた。電気代・人件費等の製造原価上昇分を反映させた価格交渉は、主にJ社と継続しており令和6年度中に新単価での取引が実現できる見込みである。

5. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員27名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
計	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396
退所													
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和4年度 109.7% 7,790名

(2) 令和5年度 107.0% 7,572名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月21日～24日	環境フェア	南足柄市文化会館
11月12日	日向公民館祭り	日向公民館
12月2日	県西地区障害者文化事業	川東妙心センター マロニエ

※ 新型コロナウイルスの影響でその他行事は中止

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

落ち着いた雰囲気の中での活動なので、職員と話をした方やゆっくりと過ごしたい方が好んで参加している。利用者が横になって休む際には、間をあげ密にならないように対応した。

(2) 運動・ストレッチ

ネット環境を整えたことで流せる音楽の幅が広がり、これまでより楽しんで体を動かす機会を提供できている。また、運動後はクールダウンとしてストレッチも行っている。運動後に余暇を取り入れ、より利用者が楽しめるようにした。

(3) 音楽・カラオケ

選曲できる方については、好きな曲を選んで歌うことでリフレッシュしている様子がうかがえる。選曲が難しい方については、職員が利用者の好きな曲を選曲することで表情良く過ごさせている。マイクの消毒は継続して行っている。

(4) DVD鑑賞

ゆっくりと過ごす日課として取り入れており、利用者は集中して鑑賞している。また、リクエストを聞くことで、見たいDVDを見られるようにしている。インターネットで動画を見られるようにしたことで利用者の好みに合わせやすくなった。車いすの利用者がマットやソファに降りられるよう対応した。

(5) 外出活動

公園までドライブし、そこで散歩をすることで歩行時間の確保、気分転換を図っている。行ける公園のレポーターを増やした。

(6) アニマルセラピー

今年度より再開した。中沼ジョブセンター、松田センターの利用者も参加されており、セラピー犬が来るのをとても楽しみにしている様子が見えかけた。

(7) 伝統芸能

今年度は行えなかった。

(8) アロマセラピー

今年度は行えなかった。

(9) 地域交流

作品展へはコロナ以前とほぼ同等まで参加できるようになった。作品展示をすることで事業所の紹介をすることができた。

(10) 全般

ボランティアに来てもらう新たな余暇活動を模索したが、今年度は中沼ケアセンターに合ったボランティアは見つけられなかった。

6. 就労活動

(1) 制作活動

季節に応じた制作を今年度も行い、頻度を上げて取り組むことができた。今年度も自主生産品の販売機会が限られてしまったため、制作を行う時間が多かった。

(2) リサイクル作業

アルミ缶回収については地域の方の協力もあり、継続して行えている。また、アルミ缶の分別についても利用者が携わる機会が増えた。

7. 余暇活動

(1) バス旅行

小田原のベルジュールにて食事会を行った。久々の外食ということもあり楽しまれていた。

(2) クラブ活動

今年度も中沼ケアセンター単独で行った。

8. 職員研修

- (1) 正職員は年間1人2回以上研修を受講できた。特性に応じた支援について少しずつ前進している。
- (2) 6月9日(金) 正職員を対象に「丁寧な対応」の研修を行った。
- (3) 2月23日(金) 全職員を対象に研修を行った。午前の部では「危険予知トレーニング」、午後の部では、「権利擁護・虐待防止研修」を行った。

9. 事業所運営

- (1) 利用者の意思に則った支援を全体で心がけ、それを実行できるように取り組んできた。今後は専門性のある支援を行えるよう外部研修に参加し、事業所内研修も行えるようにする。
- (2) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (3) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画（BCP）を更新し、有事の際の対応を周知した。

10. 支援他

余暇活動の拡充には至らなかったが、細かな点で改良を施し利用者の満足度を上げる取組をした。職員の退職者が3名出たので、人材の補充および支援の再構築を図る。

6. 居宅介護事業所それいゆ

1. 事業内容 居宅介護・重度訪問介護

2. 利用時間

- (1) 令和4年度 5,910.00時間
- (2) 令和5年度 6,216.00時間

3. 支援内容別利用時

(1) 令和4年度

- ① 身体 5,597.50時間
- ② 家事 234.50時間
- ③ 通院 78.00時間
- 総利用時間数 5,910.00時間

(2) 令和5年度

- ① 身体 5,863.00時間
- ② 家事 228.00時間
- ③ 通院 125.00時間
- 総利用時間数 6,216.00時間

総利用時間数は、前年度より306時間の増であった。身体介護、通院等介助の利用が増えた。

4. ヘルパー業務

(1) 日常生活支援

前年度同様、感染防止策を徹底し対応にあたった。利用者の介助方法など特性を踏まえた支援に結び付くよう職員のスキルアップに取り組んだ。

(2) 適切なサービス提供

適切なサービス提供を行うため、相談支援事業所との情報共有を図り、計画書に基づいたサービス提供を行った。

(3) 人権擁護

ミーティングにおいて、人権擁護についての話し合いの時間を多く取り、個々の意識を高められるようにした。また、ケース検討も取り入れ、より人権意識を高められるようにした。

(4) 地域連携

前年度は相談支援事業所との担当者会議ができない状況であった。今年度は

対面での担当者会議を行う事ができるようになったことで、情報交換がスムーズになり地域連携につながった。

(5) 守秘義務の徹底

個人情報ヘルパー同士で共有することが多いことから、情報漏洩がないよう随時ミーティングや個別にて周知し徹底を図った。

5. 職員研修

(1) 6月9日(金) 正職員を対象に「丁寧な対応」の研修を行った。

(2) 2月23日(金) 全職員を対象に研修を行った。午前の部では「危険予知トレーニング」、午後の部では、「権利擁護・虐待防止研修」を行った。

6. 事業所運営

(1) 法人内各事業所との連携により、サービス提供をすることができ、支援、協力体制の強化につながられた。女性職員を1名配置したことで、サービス提供時間を増やせた。

(2) 虐待防止チェックリストを活用し、話しにくい内容でも個々にて話をし、支援強化を図った。

(3) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(4) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応を周知した。

7. コスモス学園松田センター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員18名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	211
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24	295
退所								1					1
入所	1												1

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和4年度 98.8% 4,678名

(2) 令和5年度 103.0% 4,878名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
11月18日	松田町健康福祉センターまつり	松田町健康福祉センター
12月2日	県西地区文化事業	川東マロニエ
12月15日～12月25日	障がい者街角アートギャラリー	さがみ信用金庫松田支店
3月19日～3月21日	ちいきふくし博	南足柄市役所

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

プロジェクターや光ファイバー、お香、オルゴールサウンドを使用し、リラックスした環境を設定できた。

(2) 運動

利用者個々の状況に合わせてプログラムを設定し、ニーズに合った運動を少人数で行った。マットを使用したストレッチ、ロング歩行、YouTubeを見ながら音楽に合わせて体操など楽しく継続して取り組めた。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

カラオケは午後のプログラムに行い、参加した利用者は曲に合わせて体を動かしたり、聞いたり楽しく参加できていた。利用者が選んだ曲に合わせて、手を叩いたり、自作の楽器を演奏するなど、様々な利用者が楽しめた。

(4) DVD鑑賞

利用者が自己選択したDVDやYouTubeをニーズ別に上映し、3か所に分かれて行った。自己選択をすることで、みんなで楽しくDVD鑑賞できていた。

(5) 外出活動

車両の台数を増やしてドライブ組、歩行組に分かれて取り組んだ。新型コロナウイルス感染予防のため、車内は換気をし、商業施設には行かずに公園や川沿いなど人が少ない場所で行った。

(6) 奉仕活動

松田センター周辺の公園やパークゴルフ場、川沿いの美化活動（ごみ拾い）を月2回、少人数に分かれて行った。利用者から挨拶をし、地域の方と話す場面もあった。

(7) 足湯

11月～2月に実施している。入浴剤を入れ、足をマッサージすることで利用者全員がリラックスして参加できていた。足元の血行促進にもつながった。

(8) 地域ボランティアとの交流

7月より地域ボランティアとの交流を再開している。演奏ボランティアのクレジットの方々がクラブ活動や行事に参加し、利用者の好きな音楽を演奏したり、一緒に歌ったりと楽しく行えた。

ストレッチ講習では、利用者個々に合わせたストレッチ方法や関節の可動域など講師の先生と一緒にいき、マニュアルを作成し、日々の運動プログラムに取り入れた。

(9) 法人内他事業所との交流

月1回、中沼ケアセンタープログラムのセラピー犬に参加している。ニーズのある利用者が多く、様々な利用者が参加できた。職員の情報交換もできた。

(10) 日中活動全般

月1回、月末に医療ケア会議を行い、サービス管理責任者、看護師、支援員が参加し、情報共有ができた。看護師の出勤日が多くなり、医療対応利用者の利用日数を増やすことができた。

6. 就労活動

(1) 制作活動

利用者個々に折り紙や画用紙の色を選んで作成できていた。1つの作品を分担して様々な利用者が時間をかけて完成まで取り組んでいた。

(2) コピー機部品の分解（リサイクル）・検査

作業工程を増やし、複数の利用者が作業を行うことができていた。全体的に集中できる時間も長くなった。

(3) 重機部品の組付け・検査

取引先の生産量減少のため令和5年7月で取引が終了した。

(4) 広報誌の配達

自治会から依頼された広報誌を組ごとに丁合し、各組長宅まで配達をしている。
地域の方と交流をすることができていた。

(5) その他

就労継続支援B型と連携して内職作業（コア材詰め、トッテ束ね、バンド作業）
をたくさんの方が集中して取り組めた。

県西地区障害者文化事業やちいきふくし博が開催され、個々の作品や利用者全
員で協力して作成した貼り絵を展示会に出展した。

コスモス学園松田センター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 22 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336
退所													
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和4年度 108.7% 6,288名

(2) 令和5年度 105.8% 6,124名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 15,360円 (前年度 14,220円)

(2) 平均工賃時給 194円 (前年度 189円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総額	361,520	348,280	372,300	361,600	353,050	335,720	319,000	356,370	314,870	326,540	300,760	562,790	4,312,800
人数	506	541	519	541	509	503	552	495	516	461	494	487	6,124
時間	2,066	1,983	2,123	2,038	2,007	1,938	1,865	2,085	1,846	1,910	1,779	1,741	23,381

5. 日中活動

(1) 奉仕活動（公益活動）

川沿いや松田山、新松田駅付近で月2回、美化活動（ごみ拾い）を行い、地域の方との交流も定着し、声をかけてもらうことが多かった。

(2) 廃品回収（公益活動）

古紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶等を法人内事業所、保護者に呼びかけて回収を行った。月1回、松田町指定の再生資源回収業者が回収した。

(3) 歩行

健康診断の結果や筋力維持の目的がある利用者は、ご家庭と話し合い個別に時間を設定して行った。作業の合間に行うことで気分転換もできていた。

(4) フリープログラム

作業量や納期に余裕がある時に YouTube、DVD 鑑賞時間を設定し、気分転換

をすることができた。

県西地区障害者文化事業やちいきふくし博が開催され、作業の合間に個々で作品製作を行い、作品展示に参加した。

6. 就労活動

(1) コピー機部品の分解(リサイクル)・検査

R社の受注が減り、作業量も少なくなっているが、納期が延びたことで、作業に携わる利用者が増えた。

(2) プラスチック製品の検査・計量

中沼ジョブセンターと連携を取り、様々な作業に取り組むことができた。シール貼り作業で、貼り忘れのミスがあったため、完成品を保管する容器を透明にして確認できるようにした。また、チェック表を使用して作業、確認者で貼り忘れがないかダブルチェックを行い、再発防止に努めた。その後ミスはなかった。

(3) 重機部品の組付け・検査

S社は、生産量減少のため令和5年7月で取引が終了した。

(4) マスクの梱包作業

T社からの受注で12種類のマスク梱包作業を行っている。マスクの梱包数によって梱包方法が異なったが、指定された数、向きをそろえて取り組めた。

(5) 化粧品サンプル・梱包作業

D社からの受注で化粧品サンプルセット、封入作業を行っている。作業工程を守り、納期に間に合うように取り組めた。

(6) 自動車部品のリサイクル加工

U社からの受注は新型コロナウイルス前に戻り、月平均4万個程注文があり、納期に間に合うように取り組めた。

(7) 広報誌の丁合作業

株式会社あおぞらポストから月末に4,000部の丁合作業の受注があり、中沼ジョブセンターと連携を取りながら、納期に間に合うように取り組めた。

(8) 清掃活動

就労継続支援B型棟の清掃を行った。トイレや廊下、作業室を掃除機、モップで丁寧に行った。新型コロナウイルスが5類になったが、引き続き、感染予防で手すりや手が触れる場所のアルコール消毒は徹底して行った。

(9) 施設外就労

V社のメール仕分け作業は、令和6年1月で契約終了となっている。契約終了まで現地従業員と連携を取り、機械を使った入力業務もミスなく取り組めた。W社の草刈り作業は、今年度依頼はなかった。

D社での作業は、作業量減少のため、9月から一時的に中止している。中止前は、

内職作業中心に常時3名の利用者が継続して取り組んだ。

(10) 自主生産品作成

松田町健康福祉センターまつり、新松田駅前のコスモス館に縫物製品の雑巾を販売した。

(11) その他

中沼ジョブセンターと連携して、共同受注作業で輸出用の富士山消しゴムのシール貼り、ともに生きるのリーフレット配付に取り組んだ。指定された作業手順どおり行うことができ、複数の利用者が携われた。施設外就労に取り組む利用者を増員するため、施設外就労先のルール、事業所内の内職作業の幅を広げ、手順を確認しながら利用者と一緒にいった。

令和5年度の目標工賃(時給)は189円だったが、新型コロナウイルスの影響も緩和し、作業の受注量も少しずつ戻り、平均工賃(時給)は194円となった。

7. 余暇活動(共通)

(1) 生活介護レクリエーション

9月15日(金)事業所内でミニ運動会を行い、パン食い、くす玉割り、借り物競争、応援グッズ作成を行った。2チームに分かれて競技に参加した。

2月16日(金)事業所内でカラオケ大会、ティータイムをして過ごした。再度、新型コロナウイルス感染対策を徹底していった。

(2) 就労継続支援B型レクリエーション

9月15日(金)松田町立体育館で、午前はバスケットボール、バトミントン、サッカーを行った。午後から事業所内でパン食い競争を行った。

2月16日(金)2グループに分かれて、調理活動(フルーツポンチ)、外出活動(松田山ハーブガーデン)を行った。

(3) 生活介護バス旅行

中沼ジョブセンターのマイクロバスを借用して、小田原市にあるロイヤルマナーフォート・ベルジュールで食事会を行った。

(4) 就労継続支援B型バス研修旅行

中沼ケアセンターのマイクロバスを借用して、午前は、はだのクリーンセンター施設見学、午後から小田原市にあるロイヤルマナーフォート・ベルジュールで食事会を行った。

(5) クリスマス会

12月15日(金)感染症対策を継続しているため、就労継続支援B型、生活介護に分かれていった。音楽ボランティア(クレッシェンド)の演奏や利用者発表などを行い、楽しく取り組めた。

(6) クラブ活動

ドライブクラブ、音楽クラブ、運動クラブ、クラフトクラブの4つのクラブに分かれて、月1回土曜日の午後を余暇で楽しんだ。

8. 職員研修（共通）

(1) 6月9日（金）「丁寧な対応を心がける」のテーマで正職のみ研修を行った。

研修では、利用者の状況や場面によっての対応など、グループディスカッションを中心に行い、他事業所の職員と情報交換も行えた。利用者に対する声かけや言葉使いなど、相手側の気持ちを考えた行動が重要と全体で共有できた。

(2) 2月23日（金）正職員、パート職員で研修を行った。

午前の部では、「KYTについて」行い、食事や送迎車からの下車場面など、絵を使って危険予知トレーニングを行った。各職員によって危険だと思う個所は様々だったが、いろいろなことを想定して安全を優先することが重要と確認することができた。

午後の部では、障害者虐待、権利擁護研修を行った。虐待の種類や該当する行為、具体的な例をもとにディスカッションを行い、虐待に対する考え方を再認識することができた。事業所の環境や個々の置かれた立場によって虐待が起きやすくなる状況もあるため、コミュニケーションを重視し、個人や組織としてストレスケアができる職場環境を構築していくことが大切であると全体で共有した。

(3) 事業所内研修で9月に「丁寧な支援を心がける」（パート職員へ伝達研修）、1月に「自閉症スペクトラムについて」、3月に「障害者虐待について」の研修を行った。

(4) 6月27日（火）「摂食・嚥下の基本と食事支援について」の研修に職員1名が参加した。1月30日（火）「虐待防止・権利擁護研修」に職員1名が参加した。

9. 事業所運営（共通）

(1) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を他事業所と連携して行った。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(2) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画（BCP）を更新し、有事の際の対応を周知した。

(3) 就労継続支援B型棟の外壁塗装工事を行った。生活介護棟は家主にお願いし外壁の防水、塗装工事を施工していただいた。

(4) 10月23日（月）、1月25日（木）に河内地区の自治会長、地域の方と合同避難訓練を実施した。地域の方には横断歩道の誘導や利用者の安全確保を職員と一緒に取り組んでいただいた。

10. 令和5年度活動スケジュール

県西地区障害者文化事業、ちいきふくし博の作品展示や事業所紹介に参加した。

11. 支援他

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。※電話面談を行った。
- (2) 松田センター・あすなろ合同会議を毎月1回実施した。
- (3) 生活介護・就労継続支援B型部署会議は月1回実施した。
- (4) 工賃会議を7月、12月に実施した。
- (5) 医療ケア会議は月1回実施した。
- (6) 利用者健診
 - ・健康診断を年1回実施した。
 - ・内科検診を年2回実施した。
 - ・歯科検診を年1回実施した。
 - ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。
- (7) ストレッチ研修は、11月29日(水)、3月6日(水)に実施した。
- (8) 避難訓練は10月、1月、3月に実施した。
- (9) 介護福祉士資格取得のため、事業所内で看護師の指導の下、2名の喀痰吸引研修を実施した。

8. 相談支援事業所あすなろ

1. 事業内容 特定相談支援・指定障害児相談支援

2. 市町村別登録者数（令和6年3月31日時点）

市 町 村	人 数	市 町 村	人 数
小田原市	30	山北町	4
南足柄市	47	箱根町	1
大井町	19 (2)	湯河原町	1
開成町	14 (3)	秦野市	17
中井町	1	藤沢市	2
松田町	32 (2)	横須賀市	1
		合 計	169 (7)

※ () は障害児相談利用者数。

3. 活動内容

(1) サービス等利用計画の作成

相談者の取り巻く環境の変化に応じてサービスの追加、支給量の調整を図った。また、利用開始が円滑に進むよう事業所紹介、見学同行を実施した。

権利擁護の観点に基づいて、本人の言葉や思いを汲み取った支援計画を作成した。本人とマンツーマンでの面談を行うなど意思確認をする場を設けた。

本人の興味や関心などから活動参加の意欲を引き出し、本来持っている能力を発揮できるよう、担当者会議の実施、事業所との連携を図った。

(2) モニタリング

相談者の状況に応じた面談方法や電話対応で聞き取りを行った。通所事業所、訪問系サービス事業所等と連携を取り、相談者の状況を確認し、本人、家族や支援機関に継続的な働きかけを行った。また、本人、家族、支援提供事業所からの情報提供、サービス調整、会議設定を円滑に実施することができた。

(3) 地域における社会資源の活用

障害福祉事業所のみならず、行政のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー、病院の地域連携室など広く地域の関係機関と連絡を取り、本人に必要な社会資源の調整を行った。多職種が関わるケースでは定期的な担当者会議を行って情報共有した。足柄上地域自立支援協議会相談支援部会の会議や茶話会などの参加を通じて相談支援事業所間での地域情報の共有を図った。

ご家族の状況に応じて、社会福祉協議会の提供する事業の紹介や地域包括支援センターへの情報提供を行ない、地域生活の維持や生活基盤の安定を図った。

また、11月に行われたあしがら後見センター研修会の情報提供を法人通所利

用者宛に行い、40名以上の本人、家族が参加した。

介護保険関係者、医療職の参加する専門職会議やあしがら後見センター主催の相談支援事業所等権利擁護協議会において障害分野の専門職として参加をした。

4. 職員研修

法人実施の職員研修に参加した。

5. 事業所運営

(1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める

あしがら後見センターや足柄上地域自立支援協議会相談支援部会等の行った事例検討会やメンタルヘルス研修に参加し、相談支援の質の充実・向上を図った。

(2) 日程調整、書類作成等のプロセスを見直しサービスの効率化を進める。

事業所内での定期的な会議を行い、進捗確認、日程調整を実施し、効率化が図れた。

(3) 経費削減を徹底する。

面談、書類提出、法人本部への事務処理など効率よく業務遂行ができるようにした。

(4) 感染症対策を踏まえた柔軟な面談方法の確立、実施を進める。

直接対面での面談、電話での面談など本人やご家族の希望を踏まえつつ、感染症のまん延状況に合わせて柔軟な対応を行った。

6. その他

(1) あすなろ登録者の計画相談、モニタリング面談を随時実施した。

(2) 松田センター・あすなろでの毎朝の打ち合わせを行い、連携強化を進めた。

(3) あすなろ部署会議を毎月1回実施した。

9. コスモスホーム

1. 事業内容 共同生活援助(介護サービス包括型)
短期入所(空床利用型)
2. 利用者在籍状況 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひだまり	142	134	142	146	145	147	152	140	150	122	142	144	1,706
やまびこ	318	332	323	336	339	321	335	318	335	319	316	329	3,921
こもれび	292	304	272	301	301	293	298	290	301	264	253	258	3,427
合計	752	770	737	783	785	761	785	748	786	705	711	731	9,054
退居													
入居													

3. 平均利用率

- (1) 令和4年度 82.7%
- (2) 令和5年度 82.5%

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月18日	市・美化デー	中沼公民館・コスモスホーム周辺
8月6日	金太郎まつり・自治会「山車」巡行	中沼周辺(雨天のため中止)
9月3日	市・中沼自主防災訓練	中沼公民館
12月2日	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ

5. 支援内容

(1) 障害者の地域生活・地域移行について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されて様々な活動の緩和がなされる中、継続して利用者の状態に応じ、自主性を保ち、一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援できるよう行政、医療、専門機関、日中事業所等と連絡調整を行っている。コスモスホーム会議、クルー会議、また現場において職員への技術指導および助言を行い、利用者の人格に十分に配慮しながら統一した支援を提供した。

(2) 日常生活能力の維持・向上

- ① 利用者の障害特性を踏まえ、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう「各自のできることを増やしていこう。」を継続目標とした。

ア やまびこ・こもれび

食器洗い、洗濯、布団干し、窓拭き等、個々に進んでできるようになっている。

イ ひだまり

昼薬、資料や段ボールを法人内の日中事業所に届けることを継続して行った。

② 服薬管理・金銭管理

服薬管理対象者 20 名（令和 4 年度 20 名・令和 3 年度 18 名）、塗布薬および季節等の配薬を含めると 25 名（令和 4 年度 25 名・令和 3 年度 24 名）であった。

金銭管理対象者 23 名（令和 4 年度 21 名・令和 3 年度 21 名）については利用者預り金規程に則り不備のないよう実施した。

③ 生活相談

ア 人間関係

例年同様に人間関係についての相談が多かった。人間関係については自分で解決できるよう支援している。自分で解決が困難な場合は溜め込まず職員に相談したり、相談支援事業所など関係機関も利用して、解決につなげるよう支援している。安定した人間関係を維持できるよう支援を継続中である。

イ 体調面

前年度に続き、身体の重度化・高齢化などに付随する内容の相談が多かった。関係機関（医療、行政、相談支援等）との連携がさらに求められている。また、間食等管理対象者 2 名（令和 4 年度 1 名・令和 3 年度 1 名）の支援を行うことで、体調面、メンタル面の安定と作業意欲向上につながっている。

(3) 本人の望むサービスの提供

本人の意向を尊重し、モニタリングの実施でニーズを引き出し、支援計画の作成と見直しを行い心身の状況、その環境に応じて自立に向けた支援が提供できるよう取り組んだ。

(4) 日中支援

心身の不良等により予定した日中活動サービスを利用できなくなった利用者や就労先欠勤の利用者に対する昼食提供や様子観察、通院同行等、関係機関への連絡調整は、法人内の日中事業所、居宅介護事業所との連携により十分な対応ができた。

前年度に続き、新型コロナウイルスの感染者が出たことにより、利用者がコスモスホーム内で隔離された期間は法人内の職員の応援により感染が広がるケースもなく運営を維持できた。

(5) 通院同行

13 名の定期通院 158 件と 15 名の緊急・臨時通院 36 件（令和 4 年度 12 名の定期通院 146 件と 15 名の緊急・臨時通院 59 件）を実施し、利用者の健康増進、維持に努めた。前年度同様に全体的に利用者が複数の定期通院や緊急通院の頻度が

増えているため定期通院については法人内の居宅介護事業所の通院等介助の利用が増えている。定期通院については、利用者の高齢化等に伴い、さらに増えることが想定されるため、対応職員の確保が必要となる。

(6) 地域活動

地域行事については徐々に再開し、6月に実施した市の美化デー(清掃活動)には5名の利用者がコスモスホーム周辺の側溝の清掃などに参加することができた。1月には地域のどんど焼きに利用者が参加した。継続して定期的に自治会などの関係機関と連絡をとり、次年度以降の活動につながるようしている。

(7) 余暇活動

感染症等の状況も踏まえながら集団での外出活動も再開し、大井町のビोटピア、諏訪野原公園等運動を目的とした外出活動や地域での催しにも参加できた。また、コスモスホーム内での活動についても季節折々の活動を実施して(七夕製作、花火、節分等)余暇を満喫している。個別での活動は継続して実施し、個々の買い物や外食(昼食)の機会の調整等を行い、個々のニーズに合わせた活動を提供した。移動支援など外部機関を活用した活動も継続している。

「県西地区障害者文化事業」は今年度から再開となり、12月2日(土)にコスモスホームから21名の利用者が参加した。なお、この日は大井町のデニーズで昼食を堪能した。コスモスホーム行事については、「バーベキュー大会」は前年度同様に密を避ける方法で実施した。「忘年会」はコロナ禍前に戻し、中沼ケアセンター作業室を貸し切り、カラオケ、お楽しみ抽選会など実施して余暇を満喫した。

6. 職員研修

利用者支援の質的向上、安定した事業所運営の維持を目的に令和5年度は下記の研修に参加した。

6月9日(7月21日)	法人内職員研修 「丁寧な対応を心掛ける」
7月19日	足柄上地区地域自立支援協議会 地域生活支援部会 第1回会議(ZOOM) 1名参加
7月27日	新任職員人権研修(オンライン研修) 1名参加
8月22日、8月29日	神奈川県地域リハビリテーション連携構築推進研修 「グループホームでの生活支援を長く続けるために」 1名参加
11月14日	神奈川県総合リハビリテーション事業団主催 「知的障がいのある方への生活支援」 1名参加
2月14日	令和5年度第3回神奈川県指定障害福祉サービス事業者等 に対する指導講習会 1名参加

- 2月23日(3月26日) 法人内職員研修
「KYTについて」「意思決定支援について」
- 3月21日 足柄上地区地域自立支援協議会 地域生活支援部会
第2回会議(ZOOM) 1名参加

7. 事業所運営

- (1) 利用率については前年度とほぼ横ばいとなった(0.2%減)、こもれば2階の1室が引き続き空室となっている。
- (2) 虐待防止・身体拘束適正化委員会にはリーダー層が定期的に参加して、内容を事業所職員に周知して、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止、人権擁護の徹底を図った。
- (3) 災害・感染症対策委員会にて感染症の発生、蔓延の防止に努めたが、3回新型コロナウイルスの感染者(利用者5名、職員4名)が発生した。
- (4) 感染収束後も職員の一定期間のN95マスク着用、3密の回避、自室での食事、定期的な手洗い、手指の消毒の徹底、定期的な館内消毒を継続して感染症対策に努めた。
- (5) 防犯対策については、引き続き各棟ごと施錠を徹底した。
- (6) 事業所設備管理
備品、消耗品増に伴い、4月にひだまり棟裏の駐車場に物置を設置した。
- (7) 法人内事業所との連携については、継続して通常の勤務体制の協力依頼の他、利用者の個別に対するニーズが高まっていることから(通院対応、余暇支援対応等)、さらに連携を深めた対応が求められる。
- (8) 総合防災訓練
 - ① 9月23日に火災想定として通報訓練、避難訓練、消火訓練を実施した。
 - ② 3月16日に地震想定として避難訓練、消火訓練を実施した。
 - ③ 9月3日に南足柄市・中沼自主防災訓練に参加して避難場所へ移動することを目的として5名の利用者が参加した。次年度以降も地域との共同を目的として取り組んでいきたい。

8. 支援他

利用者の課題を共有し、本人、保護者の意向を汲み取り適切な支援を実施するため、コスモスホーム会議12回(月末の日曜日)、クルー会議12回(月末の水曜日)、メンバー会議12回(新型コロナウイルス感染予防のため前年度同様、書面だけの会議)、個別支援計画作成のための面談を3回実施した。

9. 短期入所事業

9月より通常の受け入れを再開した。今年度の新規契約については3名、利用総数については229名（令和4年度155名）となった。短期入所利用の要望は高いが、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、どのように事業を継続していくかが課題となった。